



Step1
IT・コンピュータ
日→英

テーマ A
ハードウェア
ソフトウェア

目次

例題.....	5
練習課題.....	15
添削課題.....	23
添削課題 I-101 緊密な協業で開発した、次世代の PC 最適化技術.....	24
添削課題 I-102 ヘルプ.....	25
練習課題の解答例.....	27

Sidelight 1 「～単位で…する」はどう訳しますか？.....	14
Sidelight 2 「実行する」の訳語.....	22
翻訳コーディネーターJun のぼやき日記.....	20

例題

例題 1

HTML に関するテキストの一部です。

インターネットの世界は技術の進歩が非常に速く、次々と新しい仕組みやルールができていきます。特にこれからは、ウェブサイトを作る時は、スマートフォンなどのモバイルデバイスをメインターゲットとし、パソコンなどの画面の大きい環境向けのページを作ることは補助的な役割になるという考え方も多く見られます。

【用語解説】

▼ 仕組み [framework]

インターネットの世界での「仕組み」は、どんどん変化しています。ここでいう「仕組み」とは、例えば Google や Yahoo!、さらに SNS 業者などが、無償で多くの会員を集め、広告収入でビジネスをするといったビジネスモデル、さらにはそれを容易にするような技術を指しているものと考えられます。

▼ ウェブサイト [website]

似た言葉としてホームページ (homepage) があります。日本では混同して使用されることがありますが、現在では homepage とは、パソコンでブラウザを起動したときに最初に出てくるページ、もしくは website のなかのトップのページを指しています。

▼ スマートフォン [smartphone]

現在は、一語で smartphone と綴ることが普通です。スマートフォンに対して、通常の携帯のことを cellphone (cell phone、cellular phone、もしくは mobile phone) と呼び、そのなかでもデジカメやワンセグなどの高級機能がついている、いわゆる「ガラ携」は、feature phone と呼ばれることがあります。しかし、その呼び方も境界線も、どんどん変化しています。

【翻訳のポイント】

- 「次々と新しい仕組みやルールができていきます」を、どう訳すか。「できる」だから「生まれる」と考えますか？ there are とすると、「次から次へ」が訳しにくいですね。ここでは、result in を使用するとすっきりします。「結果として発生する」という意味です。
- 「(PC 用が) 補助的な役割になる」というジョッキングな主張ですので、ここでは「むしろ」という言葉を補ったらどうでしょうか。「むしろ」の訳し方も工夫が必要です。
- 原文にある「画面の大きい環境」の「環境」や、「特にこれからは」の「特に」という言葉に引っ張られると、分かりにくい文章になるので注意が必要です。

【参考訳例】

In the Internet world, the speed of technological development is very fast, resulting in many new successive frameworks and rules. It is now commonly thought that, in the future, the main target of websites will be mobile devices, such as smartphones, and that creating webpages for PCs and other devices with larger screens will take on a complementary role.

【背景知識】

- ☞ ウェブサイトとウェブページの区別を理解しましょう。ウェブページは、まさに画面で見るページのことですが、このウェブページがいくつか集まって、一冊の本のような、ある目的を持った物になっているのが、ウェブサイトです。
- ☞ ウェブを設計するときに、端末の画面の大きさは、当然重要なファクターとなります。PC 用に作成したものを携帯で見るのは非常に見づらいものです。そのため、パソコン用と携帯用とは分けて作成されています。

■練習課題（校閲）

次の原文と訳文を読み、正しい翻訳になるよう訳文に修正を加えてください。校閲作業を通して、訳文を客観的にみる力を養いましょう。解答は巻末にあります。

練習課題 1（校閲）

システム開発の手順書から抜粋です。設計からテスト段階を経て運用に移行するまでの間に、「バリデーション」という段階を設け、スムーズに運用へと移行するための計画を立てます。

バリデーション計画書の目的は、コンピュータシステムが運用フェーズへ移行するまで、プロジェクトの品質をどのように達成、管理、維持するかを定義することであり、主に以下の項目を記載する。

- 期間
- バリデーションに携わる組織、人員構成
- 必要な成果物などの定義
- トレーサビリティマトリックスの対象となるもの
- リスクの回避方法

【訳文】

The purpose of the validation plan is to define how to achieve, control, and maintain the project quality until the time of transition of the computer system to the production phase. The main contents are described as follows:

- Duration
- Organizations involved with the validation, and personnel within the organizations
- Definition of the required deliverables
- Object of the traceability matrix
- Risk avoidance method

練習課題 2 (校閲)

ある会社の膨大な製品群を、Oracleデータベースを使用して Web 上で管理する場合の操作説明書の一部です。セキュリティが設定された Excel を使って、ダウンロード、アップロードによる登録業務が行われます。

Excel のセキュリティ設定を行っていない場合、ダウンロードしたファイルを開いた際に以下のようなエラーが表示されます。

「1-1-1 Excel 環境設定」よりセキュリティの設定を行った後で、操作をやり直してください。

【訳文】

The following error will be displayed if downloaded files are opened when Excel security has not been set.

Repeat operation after making security settings following the procedure detailed in “1-1-1 Excel Environment Settings.”

練習課題 3 (校閲)

Web を使用した製品管理を行う場合の説明書です。製品を新規登録する際に、承認者がそれをチェックするシステムになっています。

Item の新規登録を承認者にて差し戻された後、該当 Item を修正し、再度アップロードすることが可能です。

ここでは Item の新規登録を承認者にて差し戻された後の、Item 再申請手順を説明します。

【訳文】

After the new registration of an item has been returned by the approver, it is possible to revise said item and to upload it once more.

The item reapplication procedures for after the new registration of an item have been returned by the approver will be explained here.